

『トキと人の共生を目指した水辺づくり座談会』

第3回 開催報告



座談会の概要

開催日時：平成 20 年 9 月 14 日（日） 13:00～17:20

参加者：総勢 39 名（住民 17 名、学識者 2 名、関係機関 9 名、報道機関 1 名、事務局等 10 名）

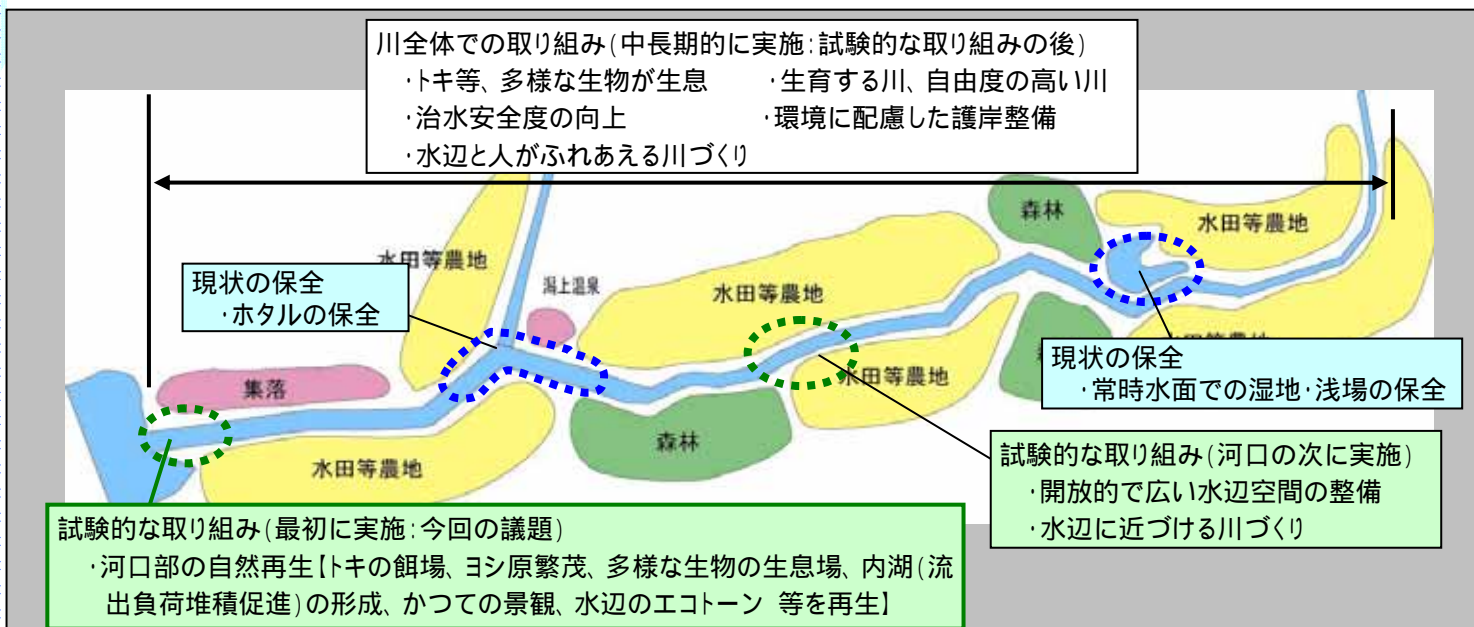
座談会進行役：桑子敏雄（東京工業大学大学院 社会理工学研究科 教授）

アドバイザー：島谷幸宏（九州大学大学院 工学研究院 教授）

座談会の内容

第 3 回水辺づくり座談会は、これまでの座談会で得られた意見を踏まえ、天王川再生計画(案)の概要、進め方を議論しました。そして天王川自然再生にむけた最初の取り組みは河口部再生であることで一致し、河口部の水辺形状について現地調査を実施し、議論しました。

天王川自然再生計画(案)



現地調査

長江川河口部、貝喰川河口部を調査し、その後、天王川河口部へ向かい、現状を確認しました。みなさん、現場でメモやスケッチを取り、自然再生のアイデアをふくらましていました。



なかなか良いアイデアだね

天王川河口部の自然再生の参考となる「貝喰川河口部」サギやカモがたくさん利用しています。トキも利用するかもしれませんね。

座談会

現地調査後、天王川河口部の形状についてみんなで意見を出し合いました。



真剣に平面図を描くみなさん



私の考えは～

問い合わせ先

新潟県佐渡地域振興局地域整備部 担当 佐々木(計画調整課)

TEL: 0259-74-4040

FAX: 0259-74-2048

Email: sasaki.tadashi2@pref.niigata.lg.jp

天王川河口部の自然再生（みなさんの意見）

みなさんに自由な発想で天王川河口部の水辺形状を描いていただきました。

～ 配色 ～

青色 水面

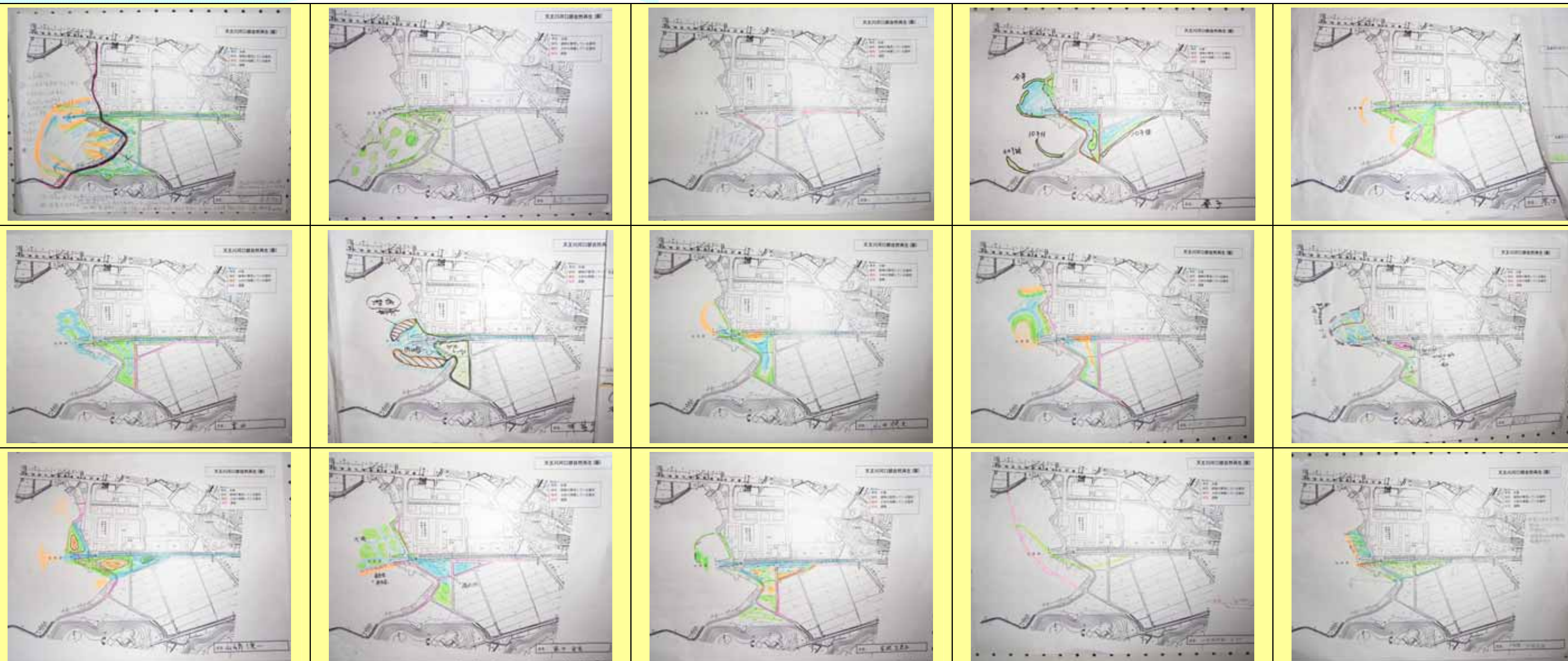
橙色 土砂の堆積している箇所

緑色 植物の繁茂している箇所

桃色 道路

（人によっては配色にとらわれず、自由に描いている場合もあります）

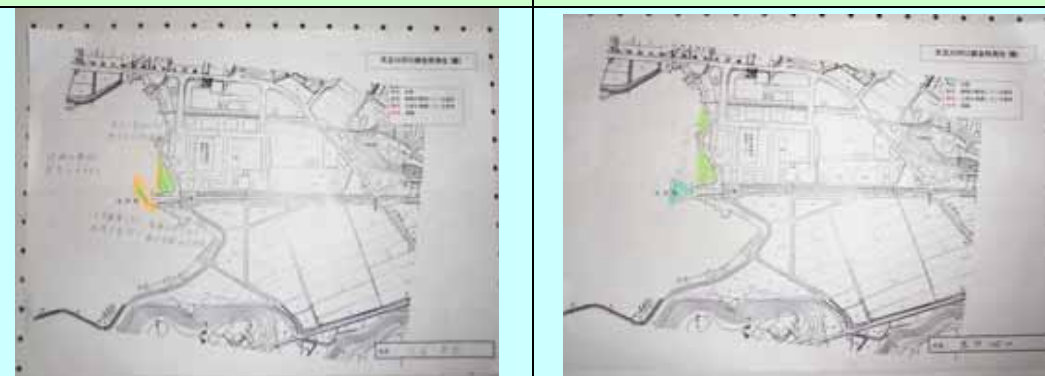
河口部に内湖的な環境を形成し、ヨシ原や浅場環境を創出させる案



天王川（左岸：水田側）を拡幅し、湿地や内湖を形成する案



加茂湖の湖岸にヨシ原を再生する案



今後、みなさんからいただいたアイデアを基に、天王川河口部自然再生の具体形状を検討します。
検討においては専門家からのアドバイスを踏まえ、必要な事項を整理し、実現可能な天王川河口部形状(案)を取りまとめる予定です。

内湖とは：大きな湖の周囲で見られる小さな湖で、出水時には河川からの土砂等の流出負荷を一時的に貯留する機能を持っています。